

登場人物



能美 はな子

- ・明るく活動的だが、運動よりも食べる事が好き
- ・糖尿病と高血圧で、にんちクリニックに通院し、薬を飲みながら生活している



息子夫婦



息子：能美 快吾

嫁：能美 世和



主治医：忍池 防
にんちクリニック 院長



あんしん相談センター職員
→連絡先裏表紙



ケアマネジャー



介護事業者



介護者の会

手取川 雄男・鮎子夫妻

軽度認知障害 (MCI)

発症前



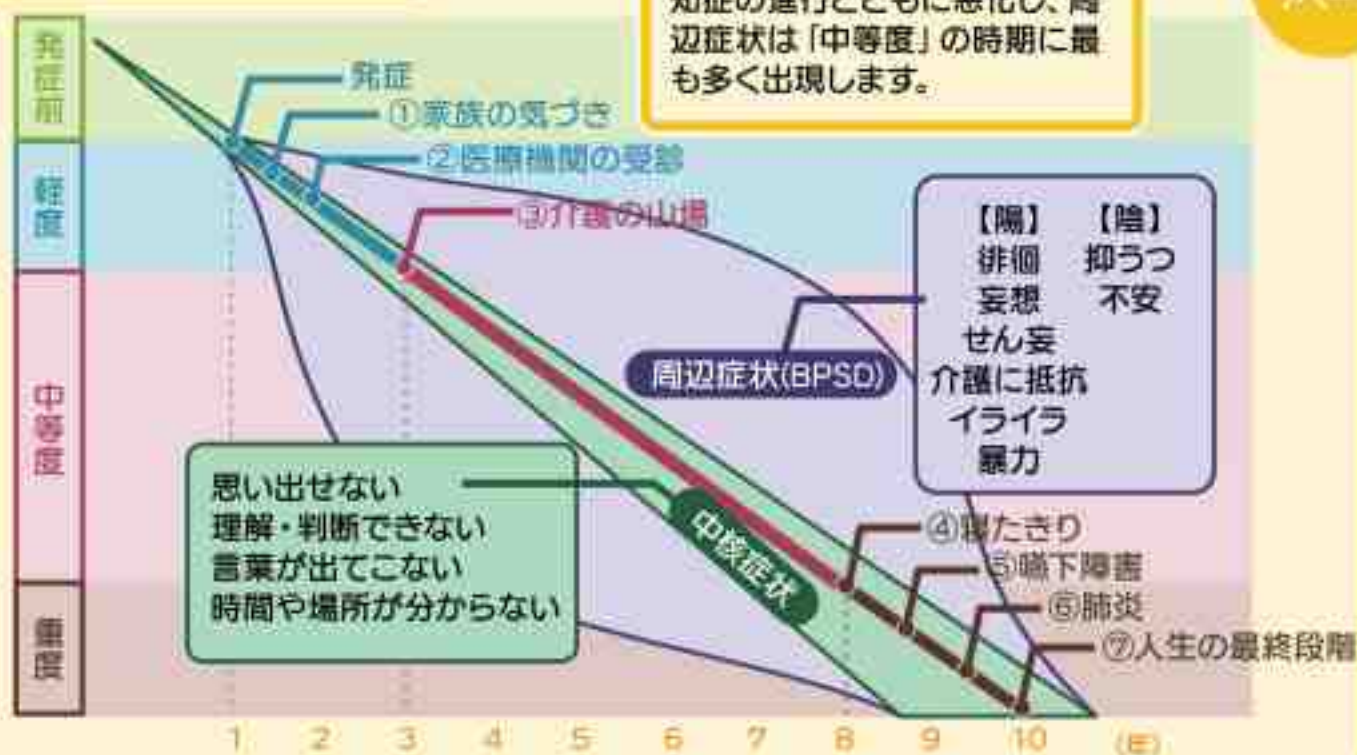
MCIとは本人または家族など周りの人から、認知機能低下に関する訴えや指摘があり、認知機能は正常ではありませんが、認知症の基準を満たさないものをいいます。日常生活には支障ありませんが、7～8割の人が5年後には認知症になると言われています。いわゆる、認知症予備軍を指します。

平均的なアルツハイマー型認知症の経過です。進行に伴い日常生活に支障を来す様子を表しています。

図のように、中核症状は認知症の進行とともに悪化し、周辺症状は「中等度」の時期に最も多く出現します。

詳細は
7ページ

一般的な認知症の経過



「軽度」の時期

近時記憶障害中心の期間が2~3年続きます。

詳細は
7ページ

①家族の気づき



最も身近な家族が、異常に気付きます。

その他の主な症状

- ・同じことを何度も言ったり聞いたりする
- ・約束の日時や場所を間違えるようになる
- ・些細なことで怒ることが増える …など
- ・少しでもおかしいなと感じたら、なるべく早くかかりつけ医または市内のあんしん相談センターへ相談しましょう。→連絡先は裏表紙

②医療機関を受診する



検査を受け診断が下され、治療が始まります。

- ・無厘矢理受診させるのは禁物です。かかりつけ医または市内のあんしん相談センターで、よく相談して受診の仕方を工夫しましょう。
- ・状況によっては、お宅に伺う事も可能です。
- ・検査や診断、治療方針確定のため、専門の医療機関を紹介する場合があります。



認知症になりやすい状態

詳細は
17ページ

生活習慣病

【生活習慣病とは?】

食生活や運動習慣などの生活習慣の積み重ねによって引き起こされる病気で、糖尿病や高血圧、脂質異常症などがあります。



フレイル

【フレイルとは?】

加齢とともに気力や体力が低下し、ストレスに強い脆弱な状態を指します。

【フレイル状態の目安】

体重減少・疲労感を感じる・筋力(握力)の低下・歩行速度の低下(1m/秒未満)・活動量の低下の中で3つ以上当てはまるとフレイルと言います。



閉じこもり

【閉じこもりとは?】

家族以外の人と交流をせず、極端に外出が減った状態(週1回未満)を指します。



これらの状態が続くと認知症になりやすくなると言われています。認知症の発症や進行を少しでも防ぐため、上記の予防や治療を行うことが大切です。

「中等度」の時期

：中核症状と周辺症状が最も多く表れる期間が4～5年続きます。

③介護の山場

STEP.1 新たな周辺症状(BPSD)の出現で皆が混乱



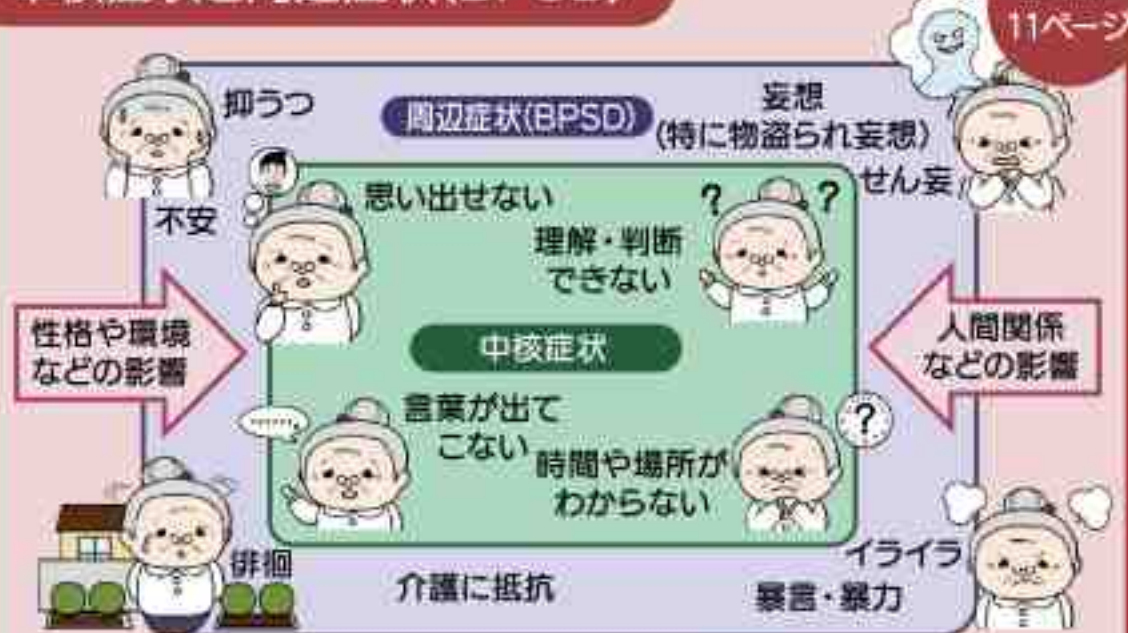
普段ならできるはずのことがうまくできないことに、家族は混乱し、怒ったりプライドを傷つけたりしがちです。しかし、認知症の方もできるはずと焦っています。その上に、不安や恐怖をあおるような不適切なケアをすると、過剰なストレスとなり、周辺症状(BPSD)が現れます。こうして現れたBPSDの対応に家族は悩み、混乱を招きます。

STEP.2 認知症介護に関わる地域社会のサポート



BPSDは服薬で改善することもあるので、医療機関を受診しましょう。医療機関や介護事業者を利用することで、様々なサービスを受けられるようになります。また、地域ごとに、認知症の方や介護をする家族を対象とした認知症サポートもあります。

中核症状と周辺症状(BPSD)



介護サービス

各種介護サービスのは、本人の症状やご家に合わせてケアマネ調整を行います。まずマネジャーにご相談

成年後見制度

判断能力が低下して守り、生活の質を高めとして衣食住の契約やる制度があります。詳しくはくらしサポーターのみにお問い合わせ

詳細は
20ページ

STEP 3

対応に慣れて
適切なケアが可能に



介護者が適切な対応をすると、認知症の方は受け入れてもらえたことに安心します。これによりBPSDの症状が和らぎ、お互いがイライラせずに日常生活を送ることができるようになります。そして、STEP1~3を繰り返しながら、認知症は少しずつ進行して、「重度」の時期に向かいます。

「重度」の時期

身体症状が現れ、介助がないと日常生活を送れないようになり、感染症や骨折などの身体合併症の頻度が増加します。

④ 寝たきり

歩行障害が現れ、寝たきりで過ごすようになります。

⑤ 嚥下障害

ものを飲みこむ能力が低下したり、飲みこむことができなくなったりします。

⑥ 肺炎

嚥下障害により、唾液や食べ物が気管に入ってしまう、肺炎を起こしやすくなります。



⑦ 人生の最終段階

皆さんは、認知症が進行して口から食事を摂ることができなくなり、これ以上回復の見込みがないと診断されたとき、胃に管を通して栄養を補給する、人工呼吸器をつけるなどの、延命措置を受けますか？

患者さん本人が自分で意思表示できなくなった時、家族が代弁できるように、認知症になる前の元気な時から家族全員で話しあっておきましょう。



詳細は
15ページ

の利用

利用について族の状況、希望ジャーが計画やは、担当のケアください。

認知症の方とご家族を支える資源

能美市独自の福祉サービスや介護予防サービスがあります。詳しくは、市内のあんしん相談センター（一連絡先は裏表紙）にお問い合わせください。

詳細は
26ページ

の利用

いる人の権利を守るため、後見人取り消しを行え

のみ認知症あんしん帳について~本誌概要版~

のみ認知症あんしん帳には、認知症の進行に合わせて、いつでもどのような医療や介護のサービスを利用できるかをお示しています。そちらもご利用ください。

詳細は
32ページ

詳細は
31ページ